

Press Release

本リリースに関する連絡先

広報担当 榊原優
03 6271 9408

yu.sakakibara@bakermckenzie.com

ベーカーマッケンジー、Rivulets Investments による銀座の V88 ビルディング取得に関して法的アドバイスを提供

【2025 年 2 月 26 日 東京発】ベーカー & マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）（以下、「ベーカーマッケンジー」）は、シンガポールのプライベート・エクイティファームである Rivulets Investments が中央区銀座の V88 ビルディング（旧デビアス銀座ビルディング）を取得するにあたり、法的アドバイスを提供しました。本取得は、Rivulets Investments の日本初の取引となります。

本案件は、ベーカーマッケンジー パートナーの[池田成史](#)及びカウンセルの Paul Davis が率い、カウンセルの[小笠原治彦](#)、シニア・アソシエイトの[簾田桂介](#)及びアソシエイトの[風間達至](#)がサポートしました。

- 以上 -

本件における責任者



池田成史

不動産グループ所属、東京、パートナー
03 6271 9444
seishi.ikeda@bakermckenzie.com

東京事務所の不動産グループに所属。2002年～2004年にドイツ銀行にて社内弁護士として勤務し、金融、証券、信託および不動産案件などの幅広い分野に携わる。その後も金融機関による国内外のストラクチャード・ファイナンス案件や不動産開発・投資案件等に関与している。



Paul Davis

不動産グループ所属、東京、カウンセラー
03 6271 9449
paul.davis@bakermckenzie.com

東京事務所の不動産グループに所属。当事務所に入所する以前は、Jones Lang Lasalle 東京事務所のシニア・ディレクターとして、日本関連の不動産取引を担当。またそれ以前は、グローバル法律事務所の東京及びシンガポールオフィスに10年以上勤務。ファンド組成、プラットフォーム及びアセットレベルのジョイントベンチャー、M&A、アセットレベルの買収及び資金調達、開発及びリース契約など、日本を中心としたクロスボーダー不動産取引において、不動産ファンドマネージャー、オペレーター、機関投資家をサポート。事業所、集合住宅、物流施設、データセンター、セルフストレージ、ホスピタリティなど幅広いアセットクラスに精通。

ベーカーマッケンジーについて

高度化するビジネスの課題に立ち向かうためには、多様な市場、産業及び法分野を網羅した解決策を見出すことが不可欠です。ベーカーマッケンジーは、国・地域性への深い洞察及び各法分野と産業における専門性に立脚し、一元化したソリューションを提供しています。世界70超の都市に及ぶネットワークを最大限に活かし、多面的に結びついた社会における最適解を導き出すべく、クライアントとともに歩み続けます。

www.bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、ベーカーマッケンジーの東京事務所として1972年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカーマッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。

www.bakermckenzie.co.jp

